

「鏡の町 平野区」から 情報発信

納期
相談
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



メイクに特化した「ナピュアミラー」

業務内容 アルミ真空蒸着で生産

大阪市の平野区や生野区、松原市は鏡メーカーの集積地だった。小物鏡では80%ものシェアを占めていたが、輸入品に押され企業数は激減した。北出善孝社長はガラス会社を経て平成4年、37歳で独立。「私は最後の創業者です」と笑う。鏡は銀引き、蒸着などの生産手法があるが、同社はアルミ真空蒸着で板鏡や凹面鏡（拡大鏡）などを製造している。製膜から切断、面取り、最終製品まで一貫で手がける数少ないメーカーだ。鏡は成熟商品だが新製品開発にも力を入れ、機能を追求している。

強み 開発意欲は旺盛

平成15年に特許を取得した「ナピュアミラー」など、開発意欲は旺盛だ。従来の鏡は実際は緑がかった透明色で、厳密には透明ではなかった。鉄分を多く含んでいるため本来の色とは少々異なっていた。そこで透明度の高いガラス板を吟味し、独自の蒸着法を開発し5年がかりで商品化にこぎつけた。従来の鏡と比べると、はるかに自然な色表現ができるので、メイク専用の鏡として売り出した。どうしても高価になるのが、量販店などが扱うようになり今では立派な主力商品に成長した。海外との価格競争に



鏡の生産工程

なりがちな量産品には手を出さず、高付加価値品の開発に注力している。

地域 ブランド化へ 地域全体の認知度アップ

鏡が大阪の地場産業であることを知る人はまだ少ない。北出社長は「鏡の町 平野」の認知度を高めるため、多忙な社業の合間を縫って奔走している。名刺にも刷り込み、講演の要望があれば遠方へも出向く。またインターネットの活用にも力を入れており、平成18年にはOEMの受託サイト「鏡ファクトリー」、同22年にはB to Cの通販サイト「鏡ねっと」を開設した。こんな努力が実を結び「関西IT100撰」にも選ばれた。地域全体で発進力を強め、アピールを続ける。

今後の 展望 オリジナル商品開発がカギ

「ナピュアミラー」に続く有望な新製品を開発中。めっきの技術を応用した「高精彩フォトリミラー」で、商品化のタイミングを狙っている。鏡を製作する前にオンデマンドで写真やイラスト、文章などをインクジェットで印刷しアルミ蒸着して完成品に仕上げる。ただガラスに印刷したのでは、洗浄時に流れてしまったり剥離したりする。この手法だと印刷してから蒸着するので剥離することがない。しかもインクジェットでかなり品質の高い画質が得られる。データさえあれば1枚から製作可能で「世界で1枚しかない鏡」が実現する。自社で一貫生産の強みを生かして、北出社長は「オリジナル商品をこつこつ開発することで差別化を図る」としている。

COMPANY PROFILE

有限会社エムアンドジーキタデ

大阪
26

当社の 歴史

平成4年7月に大阪市平野区で開業しました。平成10年には松原市の自社ビルに移転しました。一貫して鏡の製造・販売に携わっており、「メイドインジャパン」の品質を維持するため、製膜工程や洗浄工程など、独自の管理ノウハウで生産しています。製膜や凹面加工なども独自技術を持ち、顧客の課題解決に貢献しています。

独自性のある技術と製品ラインを持つ鏡専門メーカーとして、お客様の課題解決と喜び体験を提供します。

代表取締役 北出 善孝さん



■主な事業内容

板鏡製造・加工・印刷・商品企画、板ガラス・光学ガラス加工

■主な取引先（納入先）

化粧品・雑貨日用品メーカー、広告代理店、光学機器・映像機器・計測機器メーカー

住所／〒580-0046
松原市三宅中
7-3-29

TEL／072-339-0144
FAX／072-330-4430

創業／平成4年7月
設立／平成13年11月
資本金／300万円
従業員／8名

<http://www.mgkitade.com/index.html>